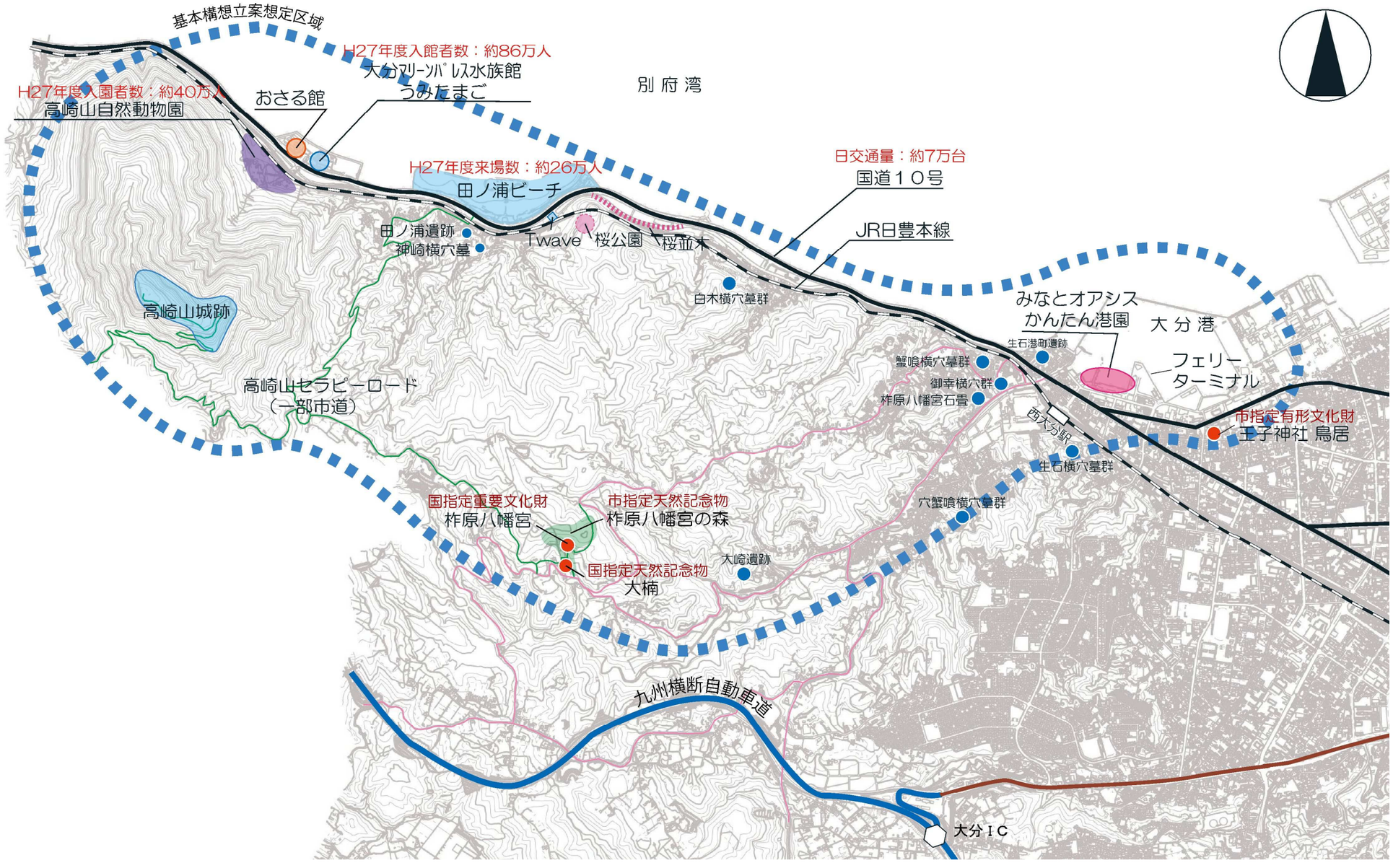
3　地区の現況把握及び整理

3.1 西部海岸地区の資源

西部海岸地区には、高崎山自然動物園（H27 年度入園者数：約 40 万人）、大分マリーンパレス水族館うみたまご（H27 年度入園者数：約 86 万人）などの観光資源、柞原八幡宮や高崎山のサルの生息地などの文化資源が集積しており、多様な資源に恵まれた地域である。また、次ページに示すとおり、当地区を通る国道 10 号を含む、別府湾岸・国東半島海べの道は、九州風景街道審議会（事務局：国土交通省九州地方整備局道路部道路計画第二課）より、日本風景街道として登録されている。

▼西部海岸地区の資源位置図



▼日本風景街道別府湾岸・国東半島海べの道　概要図

○別府湾岸・国東半島海べの道は、大分市、別府市、杵築市、日出町、国東市、豊後高田市の 5 市 1 町を跨ぐ【全長約 160 ㎞】の海岸線の街道であり、2013 年に国土交通省より日本風景街道に認定されている。

○景観や自然、歴史、文化等を活かした原風景を創ることによって、地域活性化、観光振興を図り、みんなの心に希望と勇気と誇りを与えることを目的としている。

・海岸線の魅力、美しさの再発見、創出、地域の誇りの醸成

・地域主体の協働のもと、原風景の質向上、活動により地域活性化、観光振興をめざす

・訪れた人を、ねんごろにもてなします

『Remember to welcome strangers in your home.』（別府観光の父 油屋熊八のモットー）

・一過性で終わらない協議運営（別府湾岸・国東半島海べの道推進協議会）

資料：日本風景街道 別府湾岸・国東半島海べのみち HP